

日程表

2010年9月9日(木)	
9:00 ~	受付
9:25 ~ 9:30	開会の辞
9:30 ~ 11:30	シンポジウム1 「生活習慣とメタボロミクス」 オーガナイザー：田口 良、小林哲幸
11:40 ~ 12:30	ランチョンセミナー（大阪医科大学法医学教室：土橋 均） 評議員会
12:30 ~ 13:00	総会
13:10 ~ 13:50	特別講演 座長：鈴木 修 植木真琴（財団法人日本分析センター） 「スポーツドーピング検査における質量分析法」
13:50 ~ 15:20	ポスター発表
15:20 ~ 17:20	シンポジウム2 「MSで探る環境問題」 オーガナイザー：原田健一、近藤文雄
17:30 ~ 19:00	懇親会
2010年9月10日(金)	
9:00 ~ 11:00	シンポジウム3 「プロテオミクスで捕まえる疾患バイオマーカー」 オーガナイザー：川上隆雄、和田芳直
11:00 ~ 11:30	松本 勇賞受賞講演 座長：和田芳直 重松陽介（福井大学医学部看護科） 「ESI-MS/MS 新生児代謝異常症マススクリーニングと周辺分析手法」
11:30 ~ 12:30	ランチョンセミナー（日本ウォーターズ株式会社：押方基二）
12:50 ~ 13:30	理事長講演 座長：岡 尚男 久原とみ子（金沢医科大学総合医学研究所） 「21世紀の医・薬学における科学的な解析ツールとしてのメタボロミクス」
13:40 ~ 15:40	シンポジウム4 「MSの新展開」 オーガナイザー：瀬籐光利、丹羽利充
15:50 ~ 16:50	テクニカルワークショップ オーガナイザー：猪飼誉友
17:00	閉会

プログラム

9月9日(木)

シンポジウム1「生活習慣病とメタボロミクス」

オーガナイザー：田口 良(中部大学、東京大学)

小林哲幸(お茶の水大学)

- S1-1 村上 誠(東京都臨床医学総合研究所脂質代謝プロジェクト)
「脂質メタボロミクスの応用展開：ホスホリパーゼ A₂ と生活習慣」
- S1-2 石井 功、赤星 軌征、山田秀典、末松 誠(慶応義塾大学医学部医化学)
「システイン生合成系の破綻による病態」
- S1-3 田口 良^{1,2,3}(¹中部大学生命健康科学部生命医科学科、²東京大学大学院医学系研究科メタボローム講座、³JST, CREST)
「リポドミクスによる生活習慣病の病態解析」
- S1-4 小幡 徹¹、野村真弓²(¹(財)微生物化学研究会特定研究推進グループ、²東京慈恵会医科大学 DNA 医学研究所分子細胞生物学研究部)
「臨床試料中の Asymmetric Dimethylarginine (ADMA) 測定法の開発 - 簡易な同位体標識化合物の作り方 - 」

ランチョンセミナー(W9号館204号室)、評議員会(W9号館306号室)

土橋 均(大阪医科大学法医学教室)

「新規乱用薬物分析へのアプローチ」

特別講演

座長：鈴木 修(浜松医科大学)

L1 植木真琴(財団法人日本分析センターアンチ・ドーピング研究所)

「スポーツドーピング検査における質量分析法」

ポスター発表(P1~P40)

- P1 曾川一幸¹、梅村啓史^{2,3}、渡邊正治²、松山由美子⁴、葺澤 崇⁴、瀬川俊介²、石井知里²、宮部安規子²、村田正太²、齊藤知子²、佐藤 守¹、澤井 摂²、西村基^{1,2,3}、松下一之^{1,2,3}、野村文夫^{1,2,3}(¹千葉大学医学部附属病院疾患プロテオミクス研究センター、²千葉大学医学部附属病院検査部、³千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学、⁴ブルカー・ダルトニクス株式会社)
「MALDI-TOF MS と MALDI BioTyper™ を用いた微生物迅速同定法の評価」
- P2 平林由紀子¹、山本由香里¹、品川 隆²、鈴木丈司²、加地利雄²(¹株式会社日立

- 製作所基礎研究所、²株式会社日立製作所日立横浜病院)
- 「カラムスイッチング - 超高速 LC/MS/MS による唾液中及び血中薬物の分析」
- P3 恵 淑萍¹、千葉仁志²、黒澤隆夫¹ (¹北海道医療大学薬学部、²北海道大学大学院保健科学研究院)
- 「LC/MS によるプラズマローゲンの分析」
- P4 南方かよ子¹、鈴木雅子²、野澤秀樹¹、山岸 格¹、菅野さな枝³、権守邦夫¹、長谷川弘太郎¹、渡部加奈子¹、鈴木 修¹ (¹浜松医科大学法医学、²浜松医科大学実験実習機器センター、³浜松医科大学光量子医学研究センター)
- 「ESI-MS-MS による血中シアンの迅速・高感度定量法」
- P5 三田村邦子、青山瑛里子、村上葉月、堀 直宏、堺 俊博、池川繁男 (近畿大学薬学部)
- 「イオンクラスター法による胆汁酸代謝活性中間体のチオール基並びにアミノ基との反応性の解析」
- P6 小谷博子¹、伊藤美由紀¹、高崎昭彦²、杉山 敏³、湯澤由紀夫¹ (¹藤田保健衛生大学医学部腎内科、²岐阜医療科学大学保健科学部、³金山クリニック)
- 「慢性腎疾患における局所的プロテオーム解析による糸球体内沈着分子のプロファイル異常」
- P7 重松陽介¹、畑 郁江¹、但馬 剛²、長谷川有紀³、武田良淳⁴、大竹 明⁵ (¹福井大学医学部小児科、²広島大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学、³島根大学医学部小児科、⁴東京都立小児総合医療センター内分泌代謝科、⁵埼玉医科大学小児科)
- 「乳幼児突然死例の剖検時採取胆汁中アシルカルニチン分析」
- P8 井上義人、大瀬守真 (金沢医科大学総合医学研究所人類遺伝学研究部門生化学)
- 「GC/MS を用いた乾燥羊水ろ紙中のメチルマロン酸測定によるメチルマロン酸尿症の出生前診断法について」
- P9 張 春花、阮 宗海、金 明姫 (ミルスインターナショナル研究開発部)
- 「尿中キサントシン排泄上昇する代謝プロファイル解析」
- P10 菊地香織¹、伊藤義治¹、舘岡涼子¹、江澤敦子¹、村上健二郎¹、山下美季¹、丹羽利充² (¹株式会社クレハ生物医学研究所、²名古屋大学大学院医学系研究科尿毒症病態代謝学)
- 「クレメジン[®]薬効バイオマーカーとしての尿毒症毒素のメタボローム解析」
- P11 小川匡之¹、服部秀樹¹、金子理奈²、伊藤健次郎¹、岩井雅枝¹、水谷洋子¹、有信哲也¹、石井 晃²、鈴木 修³、妹尾 洋¹ (¹愛知医科大学医学部、²名古屋大学大学院医学系研究科、³浜松医科大学医学部)
- 「UPLC-MS-MS を用いた血液中筋弛緩剤の一斉分析」
- P12 高島知佳¹、竹内敦子¹、和田昭盛¹、森岡一朗²、松尾雅文² (¹神戸薬科大学、²神戸大学大学院医学研究科小児科学分野)

- P13 「LC-MS/MS を用いた母乳、人工乳及び牛乳中 Lysophosphatidylcholine の定量」
細田香織¹、山根絵美¹、古田 隆²、石井和夫¹ (¹杏林大学保健学部、²東京薬科大学薬学部)
- P14 「LC-MS/MS によるヒト血漿及び尿中イソフラボン代謝産物の高感度・高選択一斉分析法」
三雲真由美¹、縣 優介¹、前田康博¹、橋爪博隆²、小野正孝²、漸井美穂²、小川洋史²、黒野幸久¹、木村和哲¹ (¹名古屋市立大学大学院薬学研究科、²新生会第一病院)
- P15 「LC-MS/MS による血清 ADMA 濃度測定とその臨床的意義の検討」
平石智子¹、土屋文彦²、佐々野僚一³、鈴村謙一¹ (¹アステラス製薬株式会社創薬推進研究所創薬分析研究室、²LECO ジャパン合同会社、³株式会社アイスティサイエンス)
- P16 「メタボロミクスのための自動誘導体化システムを用いた GC/TOFMS 測定手法の開発」
前橋恭子、福井謙二、永井智紀、酒井健太郎、落合恵理子、岩楯公晴 (東京慈恵会医科大学法医学講座)
- P17 「急性薬物中毒が疑われた剖検例からのセロトニン作動性抗不安薬クエン酸タンドスピロンの検出」
和田芳直、角谷真知子、岡本伸彦 (大阪府立母子保健総合医療センター)
- P18 「先天性糖鎖合成異常症の分子診断プログラム - 第 3 報 - 」
福山裕子、船越なつ美、田中耕一 (島津製作所田中最先端研究所)
- P19 「MALDI 質量分析における液体マトリックスを用いた糖ペプチド高感度解析」
前田康博^{1,2}、一木沙耶香²、伊藤哲哉²、那須徹也¹、中島葉子²、小田晴香¹、黒野幸久¹、木村和哲^{1,2}、杉山成司³、戸苅 創² (¹名古屋市立大学大学院薬学研究科、²名古屋市立大学大学院医学研究科、³愛知学院大学薬学部)
- P20 「Cefditoren pivoxil を服用させたラット組織中ピパロイルカルニチンおよびピパロイル-CoA の定量」
横川彰朋、酒井瀬里、柴崎浩美、古田 隆 (東京薬科大学薬学部)
- P21 「ヒト PBMC を用いたステロイドサルファターゼ活性評価法の開発: GC-MS による血中アンドロゲン濃度の同位体希釈分析法」
川名修一¹、中川勝博¹、宮川治彦¹、長谷川有紀²、山口清次² (¹島津製作所、²島根大学医学部)
- P22 「GC/MS による血漿中アミノ酸類の高速・多成分一斉分析法の検討」
佐藤恵美子¹、相澤純子^{1,3}、河野雅弘¹、藤澤達也²、藤原功一²、田仲紀陽^{2,3}
(¹東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHe)、²田仲北野田病院、³北条田仲病院)

- 「LC-MS を用いた透析患者血漿中のメタボローム解析 (III)」
- P23 相澤純子^{1,3}、佐藤恵美子¹、河野雅弘¹、藤澤達也²、藤原功一²、田仲紀陽^{2,3}
(¹東北大学未来科学技術共同研究センター(NICHE)、²田仲北野田病院、³北条田仲病院)
- 「LC-MS を用いた慢性腎臓病患者血漿の腎障害マーカーの研究 ()」
- P24 菅野さな枝¹、渡部加奈子²、山岸 格²、平野靖史郎³、南方かよ子²、権守邦夫²、鈴木 修² (¹浜松医科大学光量子医学研究センター、²浜松医科大学法医学、³国立環境研究所)
- 「温度応答性カラムを用いた LC-MS-MS による強心配糖体類の分析」
- P25 田島陽子^{1,2,3}、中西広樹^{1,2,4}、田口 良^{1,2,5} (¹東京大学大学院医学系研究科メタボローム講座、²JST, CREST、³国立医薬品食品衛生研究所、⁴秋田大学バイオサイエンス教育研究センター生体情報シグナル、⁵中部大学生命健康科学部生命医科学科メタボロミクス)
- 「レーザーマイクロダイセクションを用いたマウス脳における PE-plasmalogen 分子種の局在解析」
- P26 伊藤裕子、後藤智美、渡邊美奈恵、棚橋高志、猪飼誉友、大島晴美、三上栄一 (愛知県衛生研究所)
- 「安定同位元素標識体を用いた LC-MS/MS による食品中のヒスタミン分析について」
- P27 近藤文雄¹、石川直久¹、辻 清美²、宮地 淳³、栗田実希³、原田健一³ (¹愛知医科大学医学部、²神奈川県衛生研究所理化学部、³名城大学薬学部)
- 「淡水由来細菌 B-9 株による生理活性ペプチドの分解挙動及び質量分析法による分解生成物の解析」
- P28 橋本由佳^{1,2,6}、河辺真由美³、中西広樹^{2,4,6}、池田和貴^{2,6}、小林哲幸^{1,6}、田口良^{2,5,6} (¹お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科、²東京大学大学院医学系研究科、³名古屋市立大学大学院医学研究科、⁴秋田大学バイオサイエンス教育研究センター、⁵中部大学生命健康科学部生命医科学科、⁶JST, CREST)
- 「ApoE ノックアウトマウスにおける動脈硬化症の脂質メタボロミクス」
- P29 石井 晃¹、金子理奈¹、小川匡之²、服部秀樹²、妹尾 洋² (¹名古屋大学大学院医学系研究科、²愛知医科大学)
- 「UPLC-MS/MS を用いた毛髪中ベンゾジアゼピン系薬物の一斉分析」
- P30 金城 薫、福山裕子、田中耕一 (島津製作所田中最先端研究所)
- 「MALDI 質量分析における液体マトリックス 3-AQ/CHCA を用いた AQ ラベル化法による糖鎖の超高感度解析」
- P31 熊澤武志¹、長谷川智華²、李 曉鵬¹、有信哲哉³、妹尾 洋⁴、鈴木 修⁵、佐藤啓造¹ (¹昭和大学医学部法医学、²東邦大学医学部法医学、³愛知医科大学医学部

- 化学、⁴ 愛知医科大学法医学、⁵ 浜松医科大学法医学)
「シリカモノリス SPE チップと GC/MS を利用した血漿中フェノチアジン系向精神薬の分析」
- P32 牛嶋 大¹、梶原茂樹²、瀬藤光利³、松浦正明¹ (¹ (財) 癌研究会ゲノムセンター、² (株) 島津製作所、³ 浜松医科大学)
「質量分析イメージングデータに対するコモンピーク抽出ソフトウェアの開発」
- P33 李 曉鵬¹、熊澤武志¹、川瀬靖聡²、長谷川智華³、林 大吾¹、有信哲哉⁴、佐藤啓造¹ (¹ 昭和大学医学部法医学教室、² タカラバイオ株式会社、³ 東邦大学医学部法医学教室、⁴ 愛知医科大学法医学教室)
「オンライン自動カラムスイッチング UFLC-MS/MS 及び MS³ によるヒト血漿中ベンゾジアゼピン系薬物の迅速高感度分析法」
- P34 多田美保、小椋哲雄、唐澤 薫 (株式会社エービー・サイエックス)
「LC/MS/MS を用いたターゲットおよび未知物質スクリーニング法での薬毒物の検出」
- P35 増山禎一、西澤良太、鹿住まや、中本賀寿夫、徳山尚吾、糟谷史代 (神戸学院大学薬学部)
「マウス脳の各部位における 21 種の acyl-CoA 体の LC-ESI-MS/MS による分析」
- P36 高田尊信¹、土田秀行¹、島崎猛夫^{1,2}、石垣靖人¹、源 利成³、元雄良治²、友杉直久^{1,2} (¹ 金沢医科大学総合医学研究所、² 金沢医科大学、³ 金沢大学がん研究所)
「膵臓癌培養細胞 PANC-1 に対するゲムシタピン作用メカニズムの解明」
- P37 木村貴昭¹、アンジェスカ カージ²、ヘンデリック ジャン ブルワー²、ルーシーバン ヘーワードン²、マーチン アイスベルグ² (¹ 三和通商株式会社、² アンテックライデン)
「オンライン電気化学 / MS 分析? 薬物動態予測の為の新型ツール」
- P38 Tomiko Kuhara¹、Yoshito Inoue¹、Morimasa Ohse¹、Arthur J. L. Cooper² (¹ Division of Human Genetics, Medical Research Institute, Kanazawa Medical University、² Department of Biochemistry and Molecular Biology, New York Medical College)
「Urinary Biomarkers of Primary and Secondary Hyperammonemias」
- P39 池村彩香¹、井之上浩一¹、鶴田良成²、堤内 要³、日野知証^{1,4}、岡 尚男^{1,4} (¹ 金城学院大学薬学部、² 明陽クリニック、³ 中部大学応用生物学部、⁴ 金城学院大学大学院人間生活研究科)
「オンライン固相抽出 LC-MS/MS による腎透析患者の血清 Ac-SDKP ペプチドの測定」
- P40 水山由加¹、小島千佳¹、堤内 要¹、井之上浩一²、岡 尚男^{2,3} (¹ 中部大学応用生物学部、² 金城学院大学薬学部、³ 金城学院大学大学院人間生活研究科)
「金属触媒酸化による AB1-6 変性ペプチドの構造解析」

シンポジウム2「MSで探る環境問題」

オーガナイザー：原田健一（名城大学）

近藤文雄（愛知医科大学）

S2-1 伊永隆史（首都大学東京大学院理工学研究科）

「先端質量分析法に関する2トピックス」

S2-2 寺本華奈江（日本電子株式会社）

「リボソームタンパク質をバイオマーカーとしたMALDI-MSによる土壌微生物の迅速系統分類」

S2-3 野澤由利子（大正製薬株式会社医薬化学研究所）

「放線菌細胞壁ペプチドグリカン構成アミノ酸分析法の構築」

S2-4 加藤 創¹、辻 清美²、原田健一^{3,4}（¹東北薬科大学薬学部、²神奈川県衛生研究所、³名城大学薬学部、⁴名城大学大学院総合学術研究科）

「Microcystin分解性微生物B-9株による環状ペプチドの特異的加水分解」

9月10日(金)

シンポジウム3「プロテオミクスで捕まえる疾患バイオマーカー」

オーガナイザー：川上隆雄（東京医科大学、メディカルプロテオスコープ）

和田芳直（大阪府立母子保健総合医療センター）

S3-1 川上隆雄^{1,2}、和田芳直³（¹東京医科大学医学部外科学第1講座、²株式会社メディカルプロテオスコープ研究開発部、³大阪府立母子保健総合医療センター）

「プロテオミクスで捕まえる疾患バイオマーカー」

S3-2 小寺義男^{1,2,3}、野村文夫^{3,4,5}（¹北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター、²北里大学理学部物理学科生体分子動力学研究室、³千葉大学医学部附属病院疾患プロテオミクス研究センター、⁴千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学講座、⁵千葉大学医学部附属病院検査部遺伝子診療部）

「血清中の診断マーカータンパク質・ペプチドの探索と評価」

S3-3 藤本宏隆^{1,2}、鈴木 亨^{1,3}、相澤健一^{1,3}、澤城大悟¹、松村貴由¹、石田純一¹、永井良三¹（¹東京大学大学院医学系研究科循環器内科、²株式会社島津製作所基盤技術研究所、³東京大学大学院医学系研究科ユビキタス予防医学講座）

「これまでと異なった分子形態のB型ナトリウム利尿ホルモンは冠状動脈疾患の新しいバイオマーカーである。」

S3-4 荻原 淳（株式会社メディカル・プロテオスコープ）

「製販後臨床試験におけるプロテオームバイオマーカー探索の実例」

S3-5 本田一文、山田哲司（国立がん研究センター研究所化学療法部）

「質量分析を用いた血漿腫瘍がんマーカーに対する多施設共同検証研究」

松本 勇賞受賞講演

座長：和田芳直（大阪府立母子健康総合医療センター）

L2 重松陽介（福井大学医学部看護科）

「ESI-MS/MS 新生児代謝異常症マススクリーニングと周辺分析手法」

ランチョンセミナー（W9号館204号室）

押方基二（日本ウォーターズ株式会社）

「質量分析計最新技術の臨床分野への応用」

理事長講演

座長：岡 尚男（金城学院大学）

- L3 久原とみ子（金沢医科大学総合医療研究所人類遺伝学研究部門生化学）
「21世紀における医・薬学における科学的な解析ツールとしてのメタボロミクス」

シンポジウム4「MSの新展開」

オーガナイザー：瀬藤光利（浜松医科大学）

丹羽利充（名古屋大学）

- S4-1 田中宏樹^{1,2,3}、財満信宏¹、海野直樹^{2,3}、瀬藤光利¹（¹浜松医科大学分子解剖部門、²浜松医科大学血管外科、³浜松医科大学第二外科）
「質量顕微鏡による血管壁構造の観察」
- S4-2 吉田 優^{1,2,3}、西海 信^{2,3}、篠原正和³、波多野直哉³（¹神戸大学大学院医学研究科病因病態解析学分野、²神戸大学大学院医学研究科消化器内科学分野、³神戸大学大学院医学研究科質量分析総合センター）
「メタボロミクスによるがんの新規診断法 - 現状と今後の課題 - 」
- S4-3 久保亜紀子¹、大村光代¹、涌井昌俊²、末松 誠¹（¹慶應義塾大学医学部医化学教室、²慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室）
「質量顕微鏡とCE-MSによる胆がん肝の局所代謝解析」
- S4-4 西岡孝明^{1,2}（¹慶應義塾大学先端生命科学研究所、²バイオインフォマティクス推進センター、科学技術振興機構）
「ここまで進化した MassBank」
- S4-5 天野睦紀¹、原田英典¹、八木 覚¹、瀧 健太郎¹、津村勇太¹、西岡朋生¹、貝淵弘三^{1,2}（¹名古屋大学大学院医学系研究科、²JST, CREST）
「蛋白質間相互作用を利用したキナーゼの新規基質のスクリーニング」
- S4-6 楠原洋之、杉山雄一（東京大学大学院薬学系研究科）
「マイクロドーズ臨床試験による医薬品体内動態解析」

テクニカルワークショップ「最新機器の紹介」

オーガナイザー：猪飼誉友（愛知県衛生研究所）

- (1) 押方基二（日本ウォーターズ株式会社）
「ウォーターズ最新 LC-MS/MS 技術の紹介」
- (2) 津幡卓一（株式会社エービー・サイエックス）
「微量タンパク質や化合物を検出でき、定量が可能な質量分析計 Triple TOFTM 5600」

- (3) 牧原一夫 (ブルター・ダルトニクス株式会社)
「ブルタ?・ダルトニクス最先端質量分析装置のご紹介」
- (4) 窪田雅之、高旗 誠 (サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社)
「高分解能Orbitrap 質量分析計とTranscend システムを組み合わせた簡易かつ迅速な定量分析法の開発」
- (5) 芦野 武、林 明生、郡 明雄 (アジレント・テクノロジー株式会社)
「質量分析装置とケモメトリクスによるデータ解析の省力化」
- (6) マーチン アイスベルグ (三和通商株式会社)
「質量分析装置前段における電気化学分析技術 - 生化学分野での試料酸化プロセスシミュレーション - 」